

空き家の現状と対策の成果は



定住者対策として一定の成果

相当数の空き家が発生して

による世帯数の推移から、

いることが推察される。

の形成構想は。「手づくり

員 町中心部の「街並み」

国平均より上回っている。

文科省指導要領に基 体育館で実施できる

とんどの項目で県平均・全 等調査では、体力測定のほ 町長 全国体力・運動能力

満指数の状況は。

議員
町内児童・生徒の肥

冬季体育授業について児童・生徒の肥満対策

平均より高い傾向にある。

計画を作成・実施している 運動領域を中心に年間指導 肥満率調査では、

県・全国

行っていないが、

町長町全体の実態調査は

きょし **聖**議員

にも力を入れたい。 員町中心部、町家の隣

いが、今後の計画は。の建物利活用が進んでいな

取組の中で、モノづくり職

くずまきDMO

人誘致策などを生かすよう

事業の充実のため情報発信 援策の拡充・検討に努め、 進のため、ニーズ把握と支

上げている。 成立し、定住者確保対策の 21件の賃貸、9件の売買が れまで51件の登録があり、 一つとして、 今後、空き家の利活用推 一定の成果を

を図りたい。

課題が多く「手づくり

各協議会等の検討

かった。 うという気運には至らな 村」のような街並みにしよ

いらっしゃい葛巻推進課長

町内の空き家の状況

家の利活用と合わせて検討 処理について折衝が停滞 通り建物を解体し、隣の町 ている。今後、 いないので、残置物などの していく方向である。 元所有者が町に在住して

の延伸や地域経済の活性化 口の町内の周遊・滞在時間 での魅力向上が重要である 整備され、今後、ソフト面 町長 新庁舎「くずま~る」 ン」を基に、観光・交流人 と「木製上屋付き大橋」が 村」構想は今もあるのか。 「まちなかエリアビジョ

感じている。

空き家バンク事業は、こ

空き家の賃貸や物件売買に 動産業者が無いことから、 用が困難な物件が多く、

繋がりにくい状況にあると

給食調理コンク

学校・家庭・地域が連携し 肥満解消や健康増進のため 諭が食に関する指導をして おり、今後も児童・生徒の り組みや課題は。 た取り組みを推進したい また、各学年毎に栄養教

1. 葛巻町若者定住支援住宅につ いて 得に対する助成について

いて

Next page 一般質問 今ここが

聞きたい

3月6日、5議員が一般質問を 行いました。

一般質問は、町の行政全般にわ たり、事務の執行状況や将来の方 針などを幅広い視点から報告や説 明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時

議事録の内容は、町のホームペー ジと議会事務局で閲覧できます。

19ページ

- 町の空き家対応施策について 町内小中学校児童・生徒の健
- 康や体力等の状況について

20ページ

裕樹

- 1. コロナ感染症5類移行の対応
- 諸物価高騰についての対応は
- 観光客の回復について伺う

21ページ

1. 自治会の地域活動推進につい

- 2. 葛巻病院正面玄関前通路の「通

春治

2. 若者の住宅建築、中古住宅取

平庭地域市町村議会連絡協議会研修会 (久慈市・九戸村・葛巻町) 令和5年1月31日開催

鈴木重男町長

演題「夢しか実現するものはない」

×まきホー うことを目的とした研修 彑の研修と情報交換を行 会が、2年ぶりに「まき 会議員が一同に会し、相 平庭地域3市町村の議 ール」を会場に

ものはない」と題した講 **則長の「夢しか実現する** 開催されました。 研修会では、鈴木重男

の施策や、最重要課題で 取り組んできた様々な町 演が行われました。 鈴木町長は、これまで ていました。 で行きたいと力強く語 の形状で、

平庭地域市町村議会議員連絡協議会研修会

交換会が開催され、

ある人口減少問題の解決

題に積極果敢に取り組ん きかけなど、今後も諸課 ルギーの地産地消への働 に向けた取り組み、エネ

> 述べていました。 会ができる議員はうらや 音響機器等を備えた議場 感心していました。 ましい。」などと感想を においては、「ここで議 利便性に優れた新庁舎に 庁舎の見学を行いました。 んだんに活用し、最新の とくにも、 講演会終了後は、 議員の皆さんは、 研修会に先立ち デザイン性や 町産材をふ

庁舎内や議場を見学する久慈市と九戸村の議会議員

- 善策の町長所見等について
- 行禁止」の早急改善について

23ページ

- 3. 町発注工事などの人件費につ



利活用が待たれる町中心部の空店舗



暮らしに身近な自治会活動の支援策は



自主的・主体的な地域活動を積極的支援

地域づくりを実現すること と相互に協力し、よりよ 体と行政が、役割分担のも

平成19年度

を平成27年度とする町総合 「幸せ実感

針」を策定した。 「協働のまちづくり推進指 を取入れ、平成17年11月に、 の仕組みづくり」の施策と 計画において、 して「恊働のまちづくり」

この間、町では目標年度

いると認識している。

し、充実した取組となって

この指針では、様々な主

活動支援の現状

ルス感染症の影響のなか

自治会の地域活動支援につ

援してきた。

その後も自治会活動交付

設するなど自治会活動を支 のまちづくり補助金」を創 関係補助金を統合し「協働 平成20年度にコミュニティ に「自治会活動交付金」を、

形成を促してきたところで ため、各行政区に自治会の 体的な地域活動を推進する 町長町では、自主的・主

その活動はしっかりと定着 30年以上経過した現在、 た。 に応じた支援を行ってき 館整備など、時々のニーズ 金のメニュー拡充、 充、協働のまちづくり補助 金の算定方法の見直しと拡

自治会

に取り組んでいる。 力する「協創のまちづくり」 指し、一体感を持って、協 主体と行政が同じ方向を目 らに一歩前進させ、 いて、「協働」の理念をさ 年次とする町総合計画にお 現在、 このような町の取組は、 令和12年度を目標 様々な

も充実した内容となって は県内他市町村と比較して など自治会への支援として らず、補正予算による増額 年度当初の予算確保のみな

5年度の活動支援

議員 5年度の支援内容を

費を確保している。 町長 提案した令和5年度 ナ禍前と同等の水準で事業 ちづくり補助金では、 万円としたほか、 万円、約16対増の2200 自治会活動交付金を300 の一般会計当初予算案では 協創のま コロ

人口減少や高齢化が進み コロナ禍

> 重要であり、自治会においまちづくりによる取組みが 活動に大きな影響を受けた 体的な地域活動を推進して まち」の推進には、 本理念「幸せを実感できる が、町総合計画で掲げる基 により、この3年間、自治 ては引続き、自主的かつ主 協創の

応じた財政的支援・ 援を講じていく 組に対し、多様なニーズに 町として、 このような取





切な情報提供を行

葛巻病院では当面は現状の

られることとされており、

ままで続けることとしてい

ワクチン接種や公費負担

負担は段階的に見直しが図

けた経営の自立・自歩が大

とから、方針が示された際 な方針が示されていないこ については、国から具体的 ついては、これまで、 には対応を協議した上で速 生活様式の変化や規制に かな情報提供を行う。 マス

コロナ感染症5類移行の対応は



ひろ き 裕樹 議員

コロナ感染症5類移行

どへの対応や生活様式の変 移行で、病院・ワクチンな 化について伺う。 後の生活の変化

限等の規制はなくなる一方 がることとなっている。 当」から「5類」に引き下 感染法上の分類が「2類相 応について、本年5月から で、医療機関の対応や公費 町長 葛巻病院での受診対 このことにより、行動制

地更新支援事業」の拡充を を図ることが重要で、 自給粗飼料の生産性の向上 を維持していくためにも、 的要因を受けず安定的経営 物価高騰など外

についても 景気回復に向 い対応に努めたい。商工業 る。 今後も時機を逸しな 計当初予算で計上して の対策を令和5年度一般会 世帯の負担軽減を図るため 一般向けへの支援は、各

されなくなる。 等様々な規制・制限が適用 規制、海外からの水際対策 に戻すには一定の時間を要

すると認識している。 一方でコロナ禍前の状況

付を終える見込み。 月中には補助金の確定、 資材高騰対応を計上し、 支援について、短期的生産 はどのように行うか伺う。 町長 先ず農家への継続的 交

提案するもの。

るか。 に取組たい。 えつつ、必要な支援と対策 きな課題となることを踏ま

諸物価高騰対策 員諸物価高騰への対応

観光客の誘客対策

復に向けた取組は考えてい

が、当町は実感できるほど 町長全国的には観光需要 にはなっていない。 は回復傾向に向かって 上屋根付き大橋」、複合型 「木製 いる

> 用しながら幅広く情報発信 庁舎「くずま~る」など新 たな町の魅力をSNS等活 んでいく。 し、春以降の誘客に取り組

入れ環境の整備に努めてい 遊による賑わい創出や経済 の活性化に取り組んでおり、 エリア」における誘客・周 インバウンド需要について 現在、 町内観光施設での受け 町では「まちなか



イベントで賑わう町中エリア

厳しさが増す中、

コロナ感染症流行以前の自治会による農地の活用活動

いただきたい。

くずまき議会だより No.203 2023(令和5)年4月12日発行

いさ お **勇雄** 議員



定住希望者の住宅支援は

葛巻子育て支援住宅」は、 対象とした「いらっしゃい

ど、若年層を中心とした移

定住を促進していく。

なった。

る事業を強化していくな を短期間体験し移住に繋げ

3棟全て入居済みである。

40歳未満を対象とした



町単独の事業により対応している

り、一定の入居希望を見込

棟6戸で現在整備中であ

んでいる。

「若者雇用促進住宅」は、

割から8割で推移し、

棟28戸あり、

入居率が7

からの子育て世帯移住者を

果はどうなっているか 定住・町外からの移住の成

町長「定住促進住宅」は、

用の場を提供している。 町内7事業者が加盟して雇 事業協同組合」を設立し、

今後の展開として「おた

で町での暮らし

ながっている。 43世帯が入居しており、 事業の成果は、これまで

用の場の確保が大事である あるものの一定の成果につ 己都合や転職などによるや むを得ず退居するケースも 住宅の確保と併せて雇 入居者の就労支援



町外から入居している若者定住住宅(五日市)

の充実を図っていく。 が具現化できるように施策 ム事業も

ことから令和2年6月に

初となる「特定地域づくり を展開しているほか、 業紹介をはじめとする事業 ンター」を開所して無料職 県内

住宅について

賞 設置目的にある若者

葛巻町若者定住支援

対する助成は、 て29軒年平均6軒の実績と する助成数は、 町長 直近5年間の実績で 中古住宅7軒で合わせ 中古住宅1軒。町民に 町外からの移住者に対 新築住宅2 新築住宅19

9軒、中古住宅1軒を予定 に対する助成は、 住者の新築住宅2軒、町民 している。 4年度は、 町外からの移 新築住宅

ある。 円を上限に増額する予定で 最大で1軒につき200万 者と契約し施工した場合に こうした状況から新年度 今後も「住み続けたい町」 新築する際に町内事業

る。

適正価格か

宅取得への助成について 若者の住宅建築や中古住

増えてほしい につながり、若者の雇用が | 園き手の賃金アップ

を手厚くすべきでは。

算している。 定期的に設定する資材 町長町が発注する一定規 模以上の公共工事は、 人件費単価に基づ き積 県が

からは14粒アップになって 10年前からは70智、5年前 映されている県単価を採用 賃金上昇など経済情勢が反 して設計額を算定してい これにより、 普通作業員の人件費は、 物価高騰や る

事業所に委ねられてい 賃金の順守については指導 与する権限がないことをご の範疇を超える部分につい する立場にあるものの、 てはあくまでもそれぞれの 町では、 賃金アップに関 県が定める最低 るも そ

町会計年度任用職員の待遇改善は



いる。 れた制度である。 法の一部を改正して創設さ 制度の導入にあたって 総務省より「会計年度

決定している。 職歴加算について

職務に応じ適切に対応していく

運用ルー 常勤職員との均衡を考慮し 務内容や勤務条件に応じて ニュアルを踏まえた上で導 が示され、各地方公共団体 けた事務処理マニュアル」 任用職員制度の導入等に向 職員の報酬については、 の実情に応じた例規の整備 人しており、会計年度任用 当町においても、このマ ルなどを整理して

賃金等決定支給根拠と職歴 総務省のマニュアルに

薬局への動線

賃金等決定支給根拠

合の格差は。 支給額と両者を比較した場 正規常勤職員の年間給与の 会計年度任用職員と

しば た **柴田**

年数等の加算対応につい

町長 会計年度任用職員

制度導入以前の臨時・

が均衡を欠くと認識してい していることから、 また、業務内容と勤務条

通路の通行禁止

としている理由は。 ロープで囲い「通行禁止」 病院玄関前通路を

行っている。管理上、冬季間において どによる転倒などの事故を 防止するため、施設の安全 ほか、階段の積雪・凍結な 町長。この処置について 屋根からの落雪などの

職

基づき導入している。 常勤職員との比較

任用職員の全てがパ 町長当町では、 イムの任用である。

地方公務員法及び地方自治 勤務条件を確保するために 非常勤職員の適正な任用や

勤職員と比較すること自体 件に応じて報酬の額を区分 正規常

会計年度

用者への対応は。

討を進めてきたが、折り合 町長薬局利用に係る動線 至っている。 おいて相手方とも協議・検 については、病院建設時に がつかず現在の状況に

改善対応策等につい

を抱える高齢者等と薬局利 議員 通院する足腰に支障

的な改善には至れな が解決しない限りは、 は、これまでも内部で検討 と認識している。 してきたが、根本的な課題 もの 抜本

検討を進めていきたい 線・下町田子線の改良に向 計当初予算案で、 上しているので、 けた詳細設計業務を予算計 なお、令和5年度一般会 町道役場



ロープで囲われた「通行禁止」の病院玄関前通路